

三鷹駅南口駅前広場交通混雑解消に向けた取り組みについて

1 概要

三鷹駅南口駅前広場の交通混雑解消に向けた取り組みは、平成30年度より、バスの発着所の再配置や交通規制の変更等、段階的に実施してきた。令和6年度には、最大の課題であったバスの二重駐車による降車扱いの解消に向けて、JR東日本の敷地を活用してバス降車場を増設したところである。今回、その運用状況調査を実施し、効果等を確認した。

〈増設したバス降車場〉



2 調査内容

(1) 日時

令和7年7月8日（火曜日） 午前6時から午後9時まで

(2) 内容

定点カメラや調査員を配置し、バス降車場及び待機場の運用状況を調査するほか、駅前広場周辺の交通への影響を確認する。

3 調査結果

二重駐車による降車扱いについて、前回調査時（平成30年）は311件/日であったが、今回調査では0件/日となり、二重駐車による降車扱いは完全に解消され、バス利用者が安全に降車できる環境が整備された。また、タクシーや緊急車両が降車扱い中のバスの側方を通過して滞留することなく広場内へ進入することが可能になるなど、周辺の交通も含めて大きな改善効果が見られた。

4 今後の取り組み

継続的に運用状況を確認し、必要に応じて関係事業者やまちづくり事業等と連携を図りながら、交通環境の最適化に取り組む。